

広報 あいづ ばんげ

10

No.686
2021

目次 -CONTENTS-

古川利意先生に感謝をこめて	2
次世代へ繋ぐ、次世代が活躍できるまちづくりを全力で	4
副町長退任・就任	5
令和2年度 決算報告	6
庄平のどろんこ日記	10
まちの話題	10
路線バスの運行ルート・時刻が変更されます	12
第8回市町村対抗福島県ソフトボール大会	14
保育施設の新入所申込のご案内	16
お知らせインフォメーション	17
図書室だより・町史編さん調査余話(48)	21
こどもと健康の広場	22
諏訪神社例大祭	24

表紙：夏を経て～勝方区にて～

教鞭を執るかたわら、会津地方の地域文化をこよなく愛し、文化財に係る研究を生涯の仕事としてきました古川利意氏は、昨年9月に亡くなりました。

文化財調査委員長、町史編さん専門員として町の要職のみならず、近隣町村においても文化財の保存に尽力されました。また、版画や絵手紙など約半世紀にわたり制作活動が続けるなど非凡な才能を発揮されました。

長年にわたる文化財の保護、地域文化の振興への功績が認められ、平成24年（2012年）に地域文化功労者表彰を受賞、平成25年（2013年）に瑞宝双光章を受章しました。

多大なる功績を残された古川利意氏に感謝の意を込めて「利意せんせい感謝事業」を行います。



瑞宝双光章



利意先生の生い立ち

先生は、大正13年(1924年)に高寺地区の洲走に生まれました。子どもの頃は体が弱く、親は心配したそうですが、高校の実習などで成長とともに体が鍛えられました。教員養成所卒業後は、兵役にもついていました。

戦後は、小中学校・高校の教員として約38年間勤務し、昭和58年3月に会津坂下町立第一中学校を最後に退職しました。



会津坂下町立第一中学校時代
／前列左端

感謝をこめて

利意先生の主なあゆみ

遺跡発掘調査では、会津坂下町の遺跡をはじめ、西会津町・旧会津高田町・旧新鶴村・旧山都町・旧高郷村など、会津地域を中心に調査を行いました。

地元高寺地区の繁栄を願い、「高寺ふるさとを興す会」を発足。「束松峠を歩く会（現在の束松峠ウォーキング大会）」を創設するなど、地域おこしに心血を注ぎました。

町村史の執筆、町広報紙への連載、文化財講座の講師など、晩年までさまざまな活動を精力的に続けました。温厚で誠実な人柄は、多くの町民に慕われました。



◀発掘調査の見学会にて説明をする様子

▼文化財講座「塔寺塾」での講師



▲「峠フェスティバル～束松峠を語ろう歩こう会～」(H7.2.26開催 国土庁主唱の「ネオふるさと活動アイデア募集」で全国280件の応募の中から最優秀賞に選出)

利意先生の主な作品



古川利意先生に

利意せんせい感謝事業

◎回顧展

- 内容** 数々の活動の功績を映像で紹介
版画・絵手紙などの作品展示（約50点）
- 実施日時** 10月14日（木）～10月20日（水）
午前10時～午後4時
- 場所** 高寺コミュニティセンター附属体育館
- 入場料** 無料
※期間中毎日開催
- 問** 教育課 生涯学習班（中央公民館内）
☎83-3010

◎東松峠ウォーキング大会

- 日時** 10月16日（土）
午前8時 受付開始
午前8時30分 開会式
午前9時 スタート
- 参加費** 無料
- 申込期限** 10月11日（月）
- 集合場所** 高寺コミュニティセンター
※先着100名、小雨決行
- 問・申** 高寺コミュニティセンター
☎85-2001



変える勇氣！繋ぐ次世代へ！

次世代が活躍できるまちづくりを全力で取り組みます

会津坂下町長 古川 庄平



会津坂下町の発展のために力を合わせて職務に邁進します。

▲左から板橋副町長、古川町長

政策実現のイメージ

4本の柱

①新しいまちづくりの推進

- ・若い世代が活躍できる仕組みの構築
- ・地区毎の町政懇談会の開催
- ・災害に強いまちづくり

②人づくり・少子化対策支援

- ・温かい心を持つ教育の充実
- ・不妊治療の支援
- ・学校給食での地産地消

③産業のさらなる振興

- ・規模拡大農業、家族経営農業者の支援
- ・町の資源を活用した若者の起業支援
- ・雇用創出と所得の向上

④健康づくりの推進

- ・生涯スポーツに取り組む環境整備
- ・発酵食品で健康づくり

第六次会津坂下町振興計画

次世代が活躍できる
会津坂下町

この度、議会の同意をいただき、新たに板橋正良氏を副町長にお迎えしました。新しい体制ではありますが、力を合わせて「①新しいまちづくりの推進」、「②人づくり・少子化対策支援」、「③産業のさらなる振興」、「④健康づくりの推進」の「四本の柱」を、「第六次会津坂下町振興計画」の中で、実現してまいります。

①新しいまちづくりの推進

次の時代を担う若い人たちが、まちづくりの主役であり、若い世代

が活躍できる仕組みを構築します。また、まちづくりの担い手である町民皆さまとの対話の場を設けます。

②人づくり・少子化対策支援

未来を担う子どもたちが健やかに成長し、温かい心を持つよう、教育の充実を図ります。また、食を通して郷土愛が深められるよう、学校給食における地産地消を推進します。

③産業のさらなる振興

町の魅力を活かし、産業の振興

④健康づくりの推進

に取り組みするため、基幹産業である農業が持続していけるよう、大規模農家と中小の家族経営農家の支援を行います。また、町の資源を活用し、若者の起業支援、既存地元企業への支援に取り組みます。

町民皆さまが住み慣れた地域で健康に暮らし続けていけるよう、生涯スポーツに取り組む環境整備を行います。また、発酵食品を活用した健康づくりを推進します。

副町長退任・就任

8月31日、任期満了により日下亮副町長が退任し、9月1日より板橋正良氏が新たに副町長に就任しました。



退任のあいさつ

町民の皆さま、2期8年間大変お世話になりました。

平成25年9月から、町民の皆さまには、公私とも様々な場面で一緒にさせていただき、心温まる言葉やたくさんのご指導やご助言をいただき、誠にありがとうございました。

齋藤前町長を先頭に、

町職員とともに、町民皆さまからのご意見やご協力をいただきながら、副町長という立場でまちづくりに携わることができましたことは、身に余る光栄であり、大変貴重な経験でした。若輩の身であり



くさか まこと
前副町長 日下 亮 氏

昭和50年4月会津坂下町役場入庁(38年間勤務)、生活部長、政策財務部長、教育部長、総務部長を歴任、平成25年会津坂下町副町長に就任
行政知識と経験を持って、8年間「将来にわたり持続可能なまちづくり」・「財政の健全化」などに尽力

ましたが、全身全霊で職務に取り組んできたところです。

人口減少時代に入り、少子化の克服や生産性の向上など、社会・経済自体の変革が喫緊の課題となっています。第六次会津坂下町振興計画により、先の課題が少しでも明るい方向に向かうことを念じ、会津坂下町の限らない発展を願っています。最後に、町民の皆さまに感謝を申し上げるとともに、なお一層のご多幸、ご健勝をお祈りし、退任のあいさつとさせていただきます。

就任のあいさつ

この度、議会の同意をいただき、会津坂下町副町長に就任いたしました。

総務課長の任の途中ではありましたが、8月31日付けで退職し、副町長就任となり、職務の重さ並びに任務の重大さに、改めて身の引き締まる思いです。

施策を執行していくという行政マンから、立場は変わりますが、町民の皆さまの負託に応えるために、何が必要であるか問うというのは、同じです。

将来を見据え、財



いたばし まさよし
副町長 板橋 正良 氏

昭和58年4月会津坂下町役場入庁(38年5か月間勤務)、平成30年産業課長、31年建設課長、令和3年(4月1日から8月31日)総務課長、9月1日より現職

政健全化はもとより、町民皆さま方がいきいきと生活できるまちづくりに着手してまいります。住民目線、また、私が今まで経験した行政経験を最大限に生かし、町長の補佐役としての使命に徹し、その職務に専心する決意です。

町民の皆さま方におかれましては、これまで以上にご助言、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

令和2年度 決算報告

町の令和2年度決算が確定しました。その内容について概要をお知らせします。

決算の規模

普通会計(※)は、歳入・歳出額ともに前年度を上回り過去2番目の規模となりました。その要因は新型コロナウイルス感染症対策として、特別定額給付金給付事業費や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業費の増額です。

(※) 普通会計

一般的な事業を行う町の基本となる一般会計に、坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計を加えた会計

歳入説明

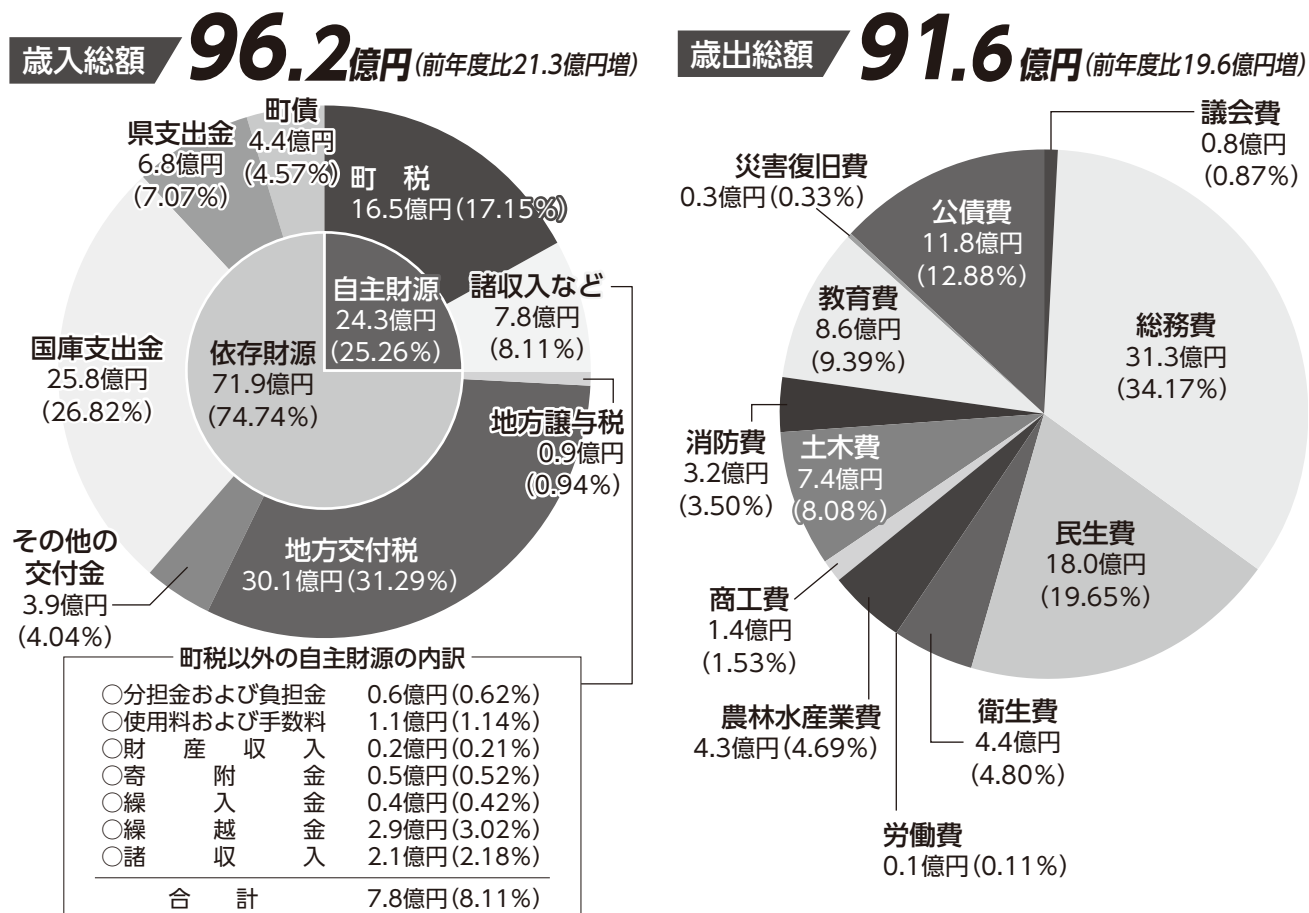
歳入総額は、諸収入や町債などが減額となった一方、国庫支出金や地方交付税などが増額となり、前年度と比較して21.3億円増の96.2億円となりました。

町税や各種使用料・手数料、基金(貯金)の取り崩しによる繰入金など、町の自主的なお金である自主財源は、全体の25.26%の24.3億円となりました。一方、地方交付税や町債(借入金)など、国や県などから交付されるお金である依存財源は、全体の74.74%の71.9億円であり、自主財源と比較して高い割合となっています。

歳出説明

歳出総額は、議会費や教育費などが減額となった一方、総務費、衛生費および土木費などが増額となり、前年度と比較して19.6億円増の91.6億円となりました。議会費の減は議員定数の2名減少によるもの、教育費の減は小中学校のエアコン設置工事が令和元年度で完了したためです。総務費の増は特別定額給付金給付事業の新規実施によるもの、衛生費の増は新型コロナウイルス感染症対策事業の新規実施によるもの、土木費の増は除雪対策事業の増加によるものです。

その他の交付金



【令和2年度の主な事業】

総務費 一般的な事務のために

- 生活路線バス維持対策事業 3,946万円
(路線バス運行維持の負担金や利用促進に係る経費を支出)
 - 地域コミュニティセンター運営事業 2,677万円
(地域コミュニティセンター施設の維持管理を実施)
 - 地域づくり推進事業 2,176万円
(地域づくり協議会運営のため交付金を支出)
 - 特別定額給付金事業 15億6,753万円
(緊急経済対策として家計への支援のため定額給付金を交付)
 - 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 2億9,182万円
- 【事業の一例】
- ・プレミアム付商品券事業 4,707万円
(町内の店舗で利用できるプレミアム付商品券を発行)
 - ・水道料金負担軽減事業 3,952万円
(外出自粛時の家庭での水道使用料負担を軽減するための補助金を支出)
 - ・地域農業経営持続化支援交付金事業 3,272万円
(農業経営の維持継承に取り組む農業の担い手などを支援)
 - ・指定避難所など感染防止対策事業 1,472万円
(感染防止対策により安心して利用できる指定避難所を整備)



避難所用ダンボール製ベッドとパーティション

民生費 福祉増進のために

- 私立保育所など施設型給付事業 1億1,289万円
(私立保育施設などの運営経費の一部を負担)
- ### 衛生費 衛生的な生活環境の保持のために
- 予防接種事業 3,567万円
(小児や高齢者などへの予防接種を実施)
 - 新型コロナウイルス対策事業 1,640万円
(感染症対策として衛生用品の購入や施設整備工事を実施)
 - 廃棄物処理収集事業 5,541万円
(廃棄物収集運搬にかかる費用を支出)

農林水産業費 農林業の振興に

- 中山間地域など直接支払事業 2,583万円
(中山間地域への農用地や水路などの保全活動の支援)
- 有害鳥獣対策事業 279万円
(鳥獣被害対策実施隊を組織して農作物への被害対策を実施)



鳥獣被害対策実施隊

- 多面的機能支払交付金事業 1億3,268万円
(地域の協同活動による農用地や水路などの保全活動の支援)
- ふくしま森林再生事業 4,296万円
(原発事故により停滞した森林整備の推進)

土木費 道路や橋の整備に

- 除雪対策事業 1億6,337万円
(冬期間の町道安全確保のため除雪作業や防雪柵設置を実施)



除雪隊出動式

- 橋梁整備事業 3,472万円
(橋梁の長寿命化を図るため改修工事を実施)
- 河川維持管理業務 1,832万円
(河川の護岸整備工事や堆積土砂除去工事を実施)
- 坂下東第一地区土地区画整理事業(一般会計繰出) 9,422万円
(都市計画道路の整備や移転補償費のための繰出し)

教育費 学校、社会教育のために

- 小学校情報教育用機器整備事業 3,323万円
- 中学校情報教育用機器整備事業 1億3,345万円
(小学校と中学校のICT教育のため、タブレット端末購入とインターネット環境整備工事を実施)

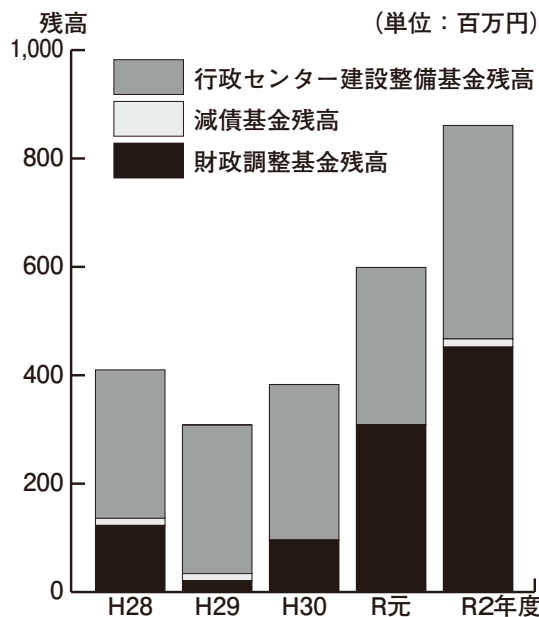
災害復旧費 災害被害の復旧のために

- 農業施設災害復旧業務 2,482万円
(7月の豪雨により発生した農業施設被害の復旧工事を実施)

〈町の貯金〉

町の貯金である基金について、財政調整基金、減債基金および行政センター建設整備基金の3つの基金残高について説明します。令和2年度は財政健全化の取組や新型コロナウイルス感染症により中止や延期となった事業が多数発生したことなどから、将来の事業実施に備えるため予算の剰余金から2億6,123万5千円を3つの基金に積立しました。

令和2年度末残高 8億6,105万5千円(3基金の合計)
町民1人あたり 約5万7千円

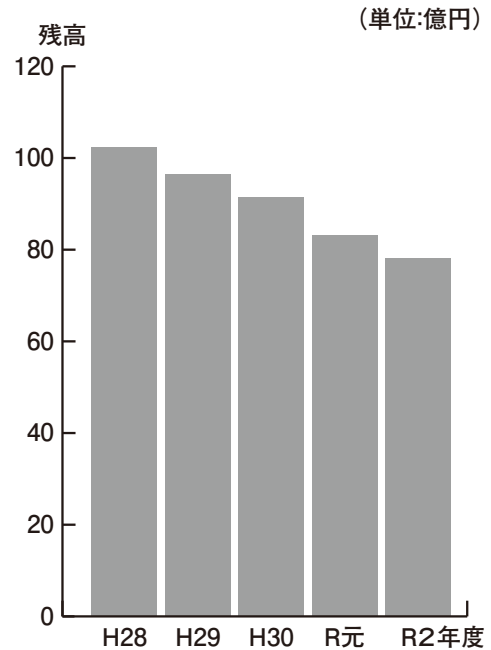


※町債・基金ともに人口15,207人(令和3年8月31日時点住民基本台帳人口)として町民1人あたりの額を算出

〈町の借金〉

町の借金である町債は、財政健全化を進めるために新規借入額を制限していることもあり、毎年の借入額よりも返済額が大きく、残高が減少しています。今後、新庁舎建設が始まれば、建設費用の確保のため多額の借入れを実施する必要があるため、その時は町債の残高が増加します。

令和2年度末残高 78億4,051万6千円
町民1人あたり 約51万6千円



会津坂下町の財政指標(健全化判断比率)を公表します

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、令和2年度決算に係る健全化判断比率を公表します。令和2年度の財政指標は、財政健全化の取組を進めたことで改善傾向にあり、健全な財政運営を判断するための4つの指標全てで基準値を下回っています。しかし、令和元年度の全国市区町村平均値と比較すると依然として悪い状況ですので、今後の新庁舎建設に備えるために、より一層健全な財政運営に努めます。

【各指標の説明】

実質赤字比率……普通会計で発生した赤字の程度を指標化し、財政の健全度を測るもの。

連結実質赤字比率……すべての会計を合算して赤字の程度を指標化するもの。

実質公債費比率……借入金の返済額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すもの。

将来負担比率……借入金やその他の将来に支払う費用の大きさを指標化し、財政の圧迫度を示すもの。

会津坂下町の比率	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
令和2年度 (早期健全化基準)	— (14.94)	— (19.94)	12.2 (25.0)	64.5 (350.0)
令和元年度 (早期健全化基準)	— (15.0)	— (20.0)	13.3 (25.0)	87.4 (350.0)
全国市区町村の 令和元年度平均値	—	—	5.8	27.4

なお、実質赤字比率と連結実質赤字比率については赤字が発生していないため算定されません。また、健全化判断比率とは別に同法で定められている、公営企業(水道事業、下水道事業、農業集落排水事業)の資金不足比率について、本町は該当していません。

令和2年度 特別会計決算の内容

会 計 名	歳 入	歳 出
国 民 健 康 保 険	18.4億円	17.6億円
後 期 高 齢 者 医 療	1.9億円	1.9億円
介 護 保 険	23.0億円	21.9億円
水 道 事 業（収 益 的 収 支）	5.3億円	4.8億円
水 道 事 業（資 本 的 収 支）	0.2億円	1.6億円
下 水 道 事 業	5.4億円	5.4億円
農 業 集 落 排 水 事 業	0.7億円	0.7億円
坂下東第一地区土地区画整理事業	2.9億円	2.9億円
計	57.8億円	56.8億円

主な内容

【国民健康保険】

加入者にかかる医療費や健診・人間ドック費用のうち、自己負担額を除いた医療機関への支払いや県への納付金などを支払っています。加入者が安心して医療を受けられ、長く健康で過ごせるよう取り組みました。

この会計は、加入者が納める国保税や県からの交付金のほか、一般会計からの繰入金などを主な財源として成り立っています。国保税の収納率を高め、必要な財源を確保するとともに、健診の結果から病気の早期発見に努めるなど、医療費の適正化につながるよう運営しています。

【後期高齢者医療】

令和3年3月末の被保険者数は2,891名で、保険料が歳入全体の73.0%を占めています。保険料は県や町の負担金と合わせて福島県後期高齢者医療広域連合へ納めており、納付金額は歳出全体の99.3%を占めています。また、健康診査事業に取り組み、被保険者の健康保持および疾病などの早期発見につなげ、重症化防止を目指しました。

【介護保険】

「第七期介護保険事業計画」（平成30年度～令和2年度）の最終年となります。要介護（要支援）認定者数は1,189名で、そのうちサービス受給者数は935名となっています（令和3年3月末）。保険料は、国・県・町の負担金とともに歳出の90.8%を占める介護保険給付費やいきいきサロン事業などの地域支援事業に充てられています。なお、保険給付費は前年度比5,448万円増加しています。要因として施設給付費の増加が挙げられます。また、医療と介護の連携、認知症支援、地域支え合い活動の普及などに取り組み、介護予防、重度化防止、自立支援を図りながら、高齢者が住み慣れた地域で、生きがいを持って日常生活を送ることができるよう環境づくりを進めました。

【水道事業】

中央配水場の配水池屋根の防水塗装修繕工事および配水池水位調整弁の更新工事を実施しました。

また下水道管渠埋設工事に伴い橋本・茶屋町^{かんきよ}地内で330.99m、柳町・羽林地内で115.05mの配水管布設替工事を実施しました。

【下水道事業】

坂下中央処理区の茶屋町・橋本・仲町・柳町・新富町地内で683.2m、坂下西処理区の新町・柳町・諏訪町地内で767.4m、坂下東処理区の羽林地内において70.7mの管渠埋設工事を実施しました。

【農業集落排水事業】

窪倉・合川・陣が峯城・長井浄化センターの維持管理を実施しました。

【坂下東第一地区土地区画整理事業】

桜木町、羽林地内で4件の家屋移転補償などを実施しました。さらに、都市計画道路坂下羽林線（県道会津坂下会津高田線）の整備を図るため、延長約128mの道路築造工事を実施しました。また、区画道路など築造工事1件を実施しました。